

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日
東

上場会社名 株式会社廣濟堂 上場取引所
 コード番号 7868 URL <http://www.kosaido.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 根岸 千尋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小林 秀昭 (TEL) 03-3453-0557
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,132	△3.8	195	△42.2	224	△31.6	△191	—
2019年3月期第1四半期	8,450	7.4	337	68.1	328	122.2	△70	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △195百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △55百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△7.70	—
2019年3月期第1四半期	△2.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	74,787	45,655	35.8
2019年3月期	76,996	46,088	35.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 26,779百万円 2019年3月期 27,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の期末配当につきましては、未定としております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	36,000	△0.5	2,500	11.1	2,400	46.6	550	—
								22.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期1Q	24,922,600株	2019年3月期	24,922,600株
2020年3月期1Q	10,395株	2019年3月期	10,305株
2020年3月期1Q	24,912,205株	2019年3月期1Q	24,913,749株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想に関する注意事項等につきましては、添付資料2ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦の長期化等により先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、積極的な営業活動を展開するとともに、事業活動全般にわたる効率化及び合理化を推進し、業績の向上に努めてまいりました。当第1四半期連結累計期間の連結売上高は81億32百万円(前年同四半期比3.8%減)、連結営業利益は1億95百万円(同42.2%減)、連結経常利益は2億24百万円(同31.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億91百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失70百万円)となりました。

なお、セグメント別の概況は以下のとおりであります。

情報セグメント

情報セグメントは印刷及びソリューション事業、人材事業、ライフスタイルデザイン事業(以下「LSD事業」といいます。)及び出版事業で構成されております。

印刷及びソリューション事業は、主に不採算事業の撤退が影響し売上高は前年同期を下回りましたが、一方で当該不採算事業の撤退が収益改善に寄与し、営業損失の計上となるも損失額は前年同期より改善しております。

人材事業は、求人媒体事業が苦戦したものの人材派遣事業が堅調に推移し、その結果売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は求人媒体事業の収益悪化分を吸収できず、前年同期を下回りました。

LSD事業は、エコビジネス事業でのLEDエスコ契約の期限切れによる減収分を新規契約分で補えず売上高が前年同期を下回りました。また、LEDエコビジネスにおける競争激化に伴う受注単価の下落を主要因とする収益悪化等により、営業損失の計上となりました。

出版事業は、一般図書部門、教育図書部門の両部門で伸び悩み、その結果、出版事業全体の売上高は前年同期を下回り、営業損失の計上となりました。

以上の結果、情報セグメント全体では売上高は前年同期を下回りました。そして、営業損失の計上となり損失額は前年同期より悪化しました。

葬祭セグメント

葬儀の簡素化、低廉化志向による単価下落傾向は継続しておりますが、火葬取扱い件数の増加が寄与し、売上高及び営業利益はともに前年同期を上回りました。

このような現況に対し、当社は、2019年5月27日付けの当社リリース「当社の企業価値及び株主向上に向けた取組み」において公表したとおり、経営の透明性・客観性及び経営の機動性を確保すべく取締役の過半数を社外取締役とした新経営体制を同年6月27日に発足させ、当該新経営体制のもと当社グループの中長期的な企業価値の向上、ひいては株主共同の利益の向上をこれまで以上に実現していくため、①印刷事業再構築プロジェクト推進体制の確立、②連結の収益基盤の強化・資本政策プロジェクトの組成、③不採算事業の撤退、④新たな事業の創出とコア事業の育成及び⑤財務・税務施策の検討等に関する事項を内容に含む当社経営課題の改革のためのロードマップを策定することといたしました。このような取り組みにより、当社の経営改革及び業績改善を加速してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて22億9百万円減少しております。主な要因は、「流動資産」が16億19百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて17億77百万円減少しております。主な要因は、「流動負債」が7億66百万円減少、「固定負債」が10億10百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億33百万円減少しております。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失1億91百万円を計上、「その他有価証券評価差額金」が1億64百万円減少したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は35.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

なお、業績予想につきましては、2019年5月15日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,669	14,756
受取手形及び売掛金	6,592	5,645
商品及び製品	423	299
仕掛品	558	716
原材料及び貯蔵品	194	177
その他	1,007	1,239
貸倒引当金	△101	△109
流動資産合計	24,345	22,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,313	17,096
機械装置及び運搬具(純額)	4,771	4,639
土地	15,311	15,311
工具、器具及び備品(純額)	2,966	2,918
その他(純額)	1,134	1,103
有形固定資産合計	41,497	41,068
無形固定資産	891	861
投資その他の資産		
投資有価証券	6,434	6,217
その他	4,365	4,448
貸倒引当金	△586	△578
投資その他の資産合計	10,213	10,087
固定資産合計	52,602	52,017
繰延資産	48	43
資産合計	76,996	74,787
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,330	2,129
短期借入金	4,500	4,500
1年内返済予定の長期借入金	3,746	3,627
1年内償還予定の社債	1,330	1,330
未払法人税等	510	267
賞与引当金	320	253
返品調整引当金	35	35
その他	3,260	3,123
流動負債合計	16,032	15,266

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
固定負債		
社債	1,470	1,470
長期借入金	8,922	8,055
繰延税金負債	1,445	1,372
再評価に係る繰延税金負債	228	228
役員退職慰労引当金	21	14
退職給付に係る負債	33	33
その他	2,755	2,690
固定負債合計	14,875	13,865
負債合計	30,908	29,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	206	206
利益剰余金	25,807	25,615
自己株式	△6	△6
株主資本合計	27,007	26,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,428	1,264
土地再評価差額金	△1,195	△1,195
為替換算調整勘定	△105	△105
その他の包括利益累計額合計	127	△35
非支配株主持分	18,952	18,875
純資産合計	46,088	45,655
負債純資産合計	76,996	74,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	8,450	8,132
売上原価	6,055	6,020
売上総利益	2,395	2,112
販売費及び一般管理費	2,057	1,917
営業利益	337	195
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	40	38
持分法による投資利益	0	20
その他	60	61
営業外収益合計	103	120
営業外費用		
支払利息	49	42
賃貸費用	24	24
その他	37	23
営業外費用合計	112	90
経常利益	328	224
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	57	0
公開買付関連費用	—	35
その他	0	—
特別損失合計	57	35
税金等調整前四半期純利益	270	189
法人税等	201	223
四半期純利益又は四半期純損失(△)	69	△34
非支配株主に帰属する四半期純利益	139	157
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△70	△191

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	69	△34
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93	△165
為替換算調整勘定	△32	2
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	△125	△161
四半期包括利益	△55	△195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△191	△355
非支配株主に係る四半期包括利益	135	159

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。